

第Ⅰ期・Ⅱ期一般廃棄物最終処分場維持管理記録票

平成29年4月

設置主体名	美幌町	汚水処理方式	生物処理(回転円板法)
施設名	美幌町廃棄物処理場	汚水処理能力	25 m <sup>3</sup> /日
埋立地面積	42,900 m <sup>2</sup>	汚水調整池容量	1,200 m <sup>3</sup>
埋立地容量	391,955 m <sup>3</sup>	目標	BOD 30 mg/ℓ
技術管理者名	金澤 亮	水質	S S 60 mg/ℓ

埋め立てた廃棄物の種類及び数量

一般廃棄物(可燃・不燃混合)		0 t	0 m <sup>3</sup>
あわせ産廃	ばいじん(下水汚泥焼却)	0 t	0 m <sup>3</sup>
	汚泥(下水汚泥、無機汚泥)	0 t	0 m <sup>3</sup>

第Ⅰ期・Ⅱ期埋立処分場残余容量(平成28年度末) 505 m<sup>3</sup>

堰堤、遮水工、調整池、集水配管等の防凍、侵入防止柵、立札及び浸出液処理設備点検状況

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日		
○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			

点検結果 ○:異常なし ×:異常あり ●:改修済

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

- 調整槽蒸気管修繕(4/10)
- 処理再開(4/14)

地下水及び放流水の水質測定結果

(単位 / PH:— 大腸菌群数:個/cm<sup>3</sup>)

ダイオキシン類:pg-TEQ/L その他の項目:mg/L

分析項目	放流水			地下水		
	放流水	地下水A	地下水B	放流水	地下水A	地下水B
水素指数(PH)						
生物化学的酸素要求量(BOD)	40.2					
浮遊物質(SS)	12.0					
大腸菌群数	600					
n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)						
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂類)						
フェノール類						
銅						
亜鉛						
溶解性鉄						
溶解性マンガン						
クロム						
ホウ素及びその化合物						
フッ素及びその化合物						
アモニウム化合物、亜硝酸及び硝酸化合物						
窒素	11.6					
磷	0.1					
アルキル水銀化合物						
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物						
総水銀						
カドミウム及びその化合物						
鉛及びその化合物						
有機燐化合物						
六価クロム化合物						
砒素及びその化合物						
シアン化合物						
全シアン						
ポリ塩化ビフェニル(PCB)						
トリクロロエチレン						
テトラクロロエチレン						
ジクロロメタン						
四塩化炭素						
1,2-ジクロロエタン						
1,1-ジクロロエチレン						
シス-1,2-ジクロロエチレン						
1,2-ジクロロエチレン						
1,1,1-トリクロロエタン						
1,1,2-トリクロロエタン						
1,3-ジクロロプロペン						
チウラム						
シマジン						
チオベンカルブ						
ベンゼン						
セレン及びその化合物						
1,4-ジオキサン						
塩化ビニルモノマー						
ダイオキシン類						
塩素イオン						
電気伝導率					12.31	222

備考1) 放流水の水質測定結果において、複数回実施している項目は月間平均値を記載。

備考2) 地下水Aは第Ⅱ期埋立地Bルート側、地下水Bは第Ⅰ期埋立地側側の設置井戸より採水。 採水日 平成29年4月28日

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

## 第三期一般廃棄物最終処分場維持管理記録票

平成29年4月

設置主体名	美幌町	汚水処理方式	生物処理(接触曝気法)
施設名	美幌町廃棄物処理場	汚水処理能力	30 m <sup>3</sup> /日
埋立地面積	16,240 m <sup>2</sup>	汚水調整槽容量	2,877.4 m <sup>3</sup>
埋立地容量	97,000 m <sup>3</sup>	目標	BOD 20 mg/ℓ
技術管理者名	金澤 亮	水質	S S 30 mg/ℓ

### 埋め立てた廃棄物の種類及び数量

一般廃棄物(可燃・不燃混合)	499 t	203 m <sup>3</sup>
あわせ産廃	ばいじん(下水汚泥焼却)	0 t
	汚泥(下水汚泥、無機汚泥)	0 t

### 第三期埋立処分場残余容量(平成28年度末)

88,454 m<sup>3</sup>

### 堰堤、遮水工、調整池、集水配管等の防凍、侵入防止柵、立札及び浸出液処理設備点検状況

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日		
○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			

点検結果 ○:異常なし X:異常あり ●:改修済

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

### 地下水及び放流水の水質測定結果

(単位 / PH:— 大腸菌群数:個/cm<sup>3</sup>)

ダイオキシン類:pg-TEQ/L その他の項目:mg/L)

分析項目	放流水			地下水		
	放流水	地下水A	地下水B	放流水	地下水A	地下水B
水素指数(PH)	7.6	/	/	/	/	/
生物化学的酸素要求量(BOD)	59.2	/	/	/	/	/
浮遊物質(SS)	1.9	/	/	/	/	/
大腸菌群数	92	/	/	/	/	/
n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)	/	/	/	/	/	/
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂類)	/	/	/	/	/	/
フェノール類	/	/	/	/	/	/
銅	/	/	/	/	/	/
亜鉛	/	/	/	/	/	/
溶解性鉄	/	/	/	/	/	/
溶解性マンガン	/	/	/	/	/	/
クロム	/	/	/	/	/	/
ホウ素及びその化合物	/	/	/	/	/	/
フッ素及びその化合物	/	/	/	/	/	/
アモニウム化合物、亜硝酸及び硝酸化合物	/	/	/	/	/	/
窒素	23.3	/	/	/	/	/
磷	0.1	/	/	/	/	/
アルキル水銀化合物	/	/	/	/	/	/
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	/	/	/	/	/	/
総水銀	/	/	/	/	/	/
カドミウム及びその化合物	/	/	/	/	/	/
鉛及びその化合物	/	/	/	/	/	/
有機燐化合物	/	/	/	/	/	/
六価クロム化合物	/	/	/	/	/	/
砒素及びその化合物	/	/	/	/	/	/
シアン化合物	/	/	/	/	/	/
全シアン	/	/	/	/	/	/
ポリ塩化ビフェニル(PCB)	/	/	/	/	/	/
トリクロロエチレン	/	/	/	/	/	/
テトラクロロエチレン	/	/	/	/	/	/
ジクロロメタン	/	/	/	/	/	/
四塩化炭素	/	/	/	/	/	/
1,2-ジクロロエタン	/	/	/	/	/	/
1,1-ジクロロエチレン	/	/	/	/	/	/
シス-1,2-ジクロロエチレン	/	/	/	/	/	/
1,2-ジクロロエチレン	/	/	/	/	/	/
1,1,1-トリクロロエタン	/	/	/	/	/	/
1,1,2-トリクロロエタン	/	/	/	/	/	/
1,3-ジクロロプロペン	/	/	/	/	/	/
チウラム	/	/	/	/	/	/
シマジン	/	/	/	/	/	/
チオベンカルブ	/	/	/	/	/	/
ベンゼン	/	/	/	/	/	/
セレン及びその化合物	/	/	/	/	/	/
1,4-ジオキサン	/	/	/	/	/	/
塩化ビニルモノマー	/	/	/	/	/	/
ダイオキシン類	/	/	/	/	/	/
塩素イオン	/	/	/	/	/	/
電気伝導率	/	/	/	/	10.15	16.1

備考1) 放流水の水質測定結果において、複数回実施している項目は月間平均値を記載。

備考2) 地下水Aは第三期埋立地上流側、地下水Bは第三期埋立地下流側の設置井戸より採水。 採水日 平成29年4月28日

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等